



(損保版)

第1～4月曜日発行  
発行所 新日本保険新聞社  
大阪市西区靱本町1丁目5-15  
(郵便番号550-0004)  
電話 (06) 6225-0550 (代表)  
FAX (06) 6225-0551 (専用)  
購読料 1か月2200円  
(消費税、送料込み)

©新日本保険新聞社 2022

シンニチ保険Web  
www.shinnihon-ins.co.jp  
購読者専用バックナンバー  
閲覧パスワード  
**HOKUTO**  
2022年10月3日 AMまで  
※偶数月の第一月曜日正午ごとに変更

山梨代協

# 地震保険でセミナー 鑑定のポイントをテーマに

山梨代協(土屋契会長)は8月26日、オンラインセミナーを開き、「地震保険 鑑定現場からの報告」あなたに損害保険代理店として鑑定のポイントを知っていますか？」



土屋会長

をテーマに現役の損害保険鑑定人の大上茂信氏(株式会社中央損保鑑定)が講演した。当日は損害保険代理店を中心に約70名が聴講した。講演では東日本大震災や熊本震災など地震現場の鑑定を多数行ってきた大上氏が、大規模な災害や激甚災害が頻発している日本で、損害保険代理店として把握しておくべきポイントを鑑定人の現



大上氏

「現場で我々鑑定人がどのようにみているかという着目点を知ってもらい、活用していただきたい」と呼びかけたうえで、「災害が多くなっているなかで、地震が起きてから鑑定に入るまで時間がかかるケースがある」と指摘。「その間に片づけや修理をすることもありますが、山梨代協では会員代理店にとって『急になる』写真や動画を撮っていた「聞きたい」と思っている、鑑定の際は代理店と一緒にお客様に寄り添っていただきたい」と話した。セミナー当日は山梨代協の土屋会長が挨拶し、「いつ起こるか分からない地震ですが、一度大地震が発生すれば、その損害は広範囲におよび、経済損失額も甚大となる」とが想定されます。お客様の損失を可能な限り軽くすることが、我々保険代理店の使命でもあります。山梨代協では会員代理店にとって『急になる』写真や動画を撮っていた「聞きたい」と思っている、鑑定の際は代理店と一緒にお客様に寄り添っていただきたい」と話した。セミナー当日は山梨代協の土屋会長が挨拶し、「いつ起こるか分からない地震ですが、一度大地震が発生すれば、その損害は広範囲におよび、経済損失額も甚大となる」とが想定されます。お客様の損失を可能な限り軽くすることが、我々保険代理店の使命でもあります。山梨代協では会員代理店にとって『急になる』